



2020年の年明けから世界中で感染が続いている「新型コロナウイルス」の影響により、私たちの生活は大きく様変わりをしました。しかしながら、私たちは『しせい教育』の理念のもと、「基礎・基本」である丁寧な手洗い・うがいを徹底し、問題を解決するため皆で意見を出し合い、この状況だからこそ経験できる内容を考えて一日一日を大切に過ごしてまいりました。こうした中迎える明日の卒園式は、“特別な思い出”として私たちの心に深く刻まれることでしょう。

この一年、私達は『子ども自身が自分で考え、選択し、実行していく過程を大切に』生活してきました。生活や遊びの場で子どもが困難にぶつかったときには、直ぐに解決方法を知らせるのではなく、「どうしたらいいのかな。」と言葉を掛け、先ずは自分で考えるよう促してきたところです。安心できる環境の中で、ひとり一人が自分の思いを言葉で表現し、相手に伝える経験を通して、‘こんなかんがえもあるんだなあ’と他児の思いに気付くことができました。ひとりでは上手くいかないことも友達と一緒に力を合わせることで、乗り越えることができたように思います。

また、日常的に続けてきた“良いところみつけ”も「自己肯定感」や「他者との調和・コミュニケーション能力」につながる重要なものとして、互いを認め合う関係づくりの基になっていたような気がします。

子ども達はこれからも様々な困難にぶつかると思いますが、園生活での経験を活かし、決して諦めることなく一步一步進んでいってくれるものと信じています。

明日の卒園式は、規模を縮小しての開催となりますが、子ども達はみんな“頑張るときは頑張る”の気持ちで式に臨んでくれることと思います。

保護者の皆様には、園のパートナーとして在園中温かいご協力をいただき本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。お子様は卒園されますが、第一幼稚園はいつまでも皆様の“心のふるさと”として関係者全員の成長を見守り続けてまいります。いつでもお気軽にお立ち寄りください。

【伝え合い】

年長組の間で折り紙でのこま作りが自然と伝播しています。伝え合う姿を頼もしく見守っています。



＜継続は力なり＞

年長組のY君は、ある時期自宅のある池田から毎朝お母さんと手を繋ぎ、歩いて登園していました。距離が長く大変なこともあったと思いますが、日々続けることで車から命を守る方法を身に付けたり、道端に咲く草花に目を留める等、自然の変化に気付くことができたのではないのでしょうか。スリッパを並べる、食事のお皿運びをする等、皆様のご家庭でもきっと続けていることがおありだと思います。継続することで得るものをそれぞれが感じとってほしいと思っています。



【目と目を合わせて】
卒園式リハーサルで修了証書をいただく年長児。

これからも 大切なメッセージを
みんなで伝えていきましょう

食 育

給食の先生方が、子ども達の喜ぶ顔を思い浮かべながら、毎日心を込めて提供して下さった給食。そのお陰で、子ども達は心身ともに大きく成長しました。

新型コロナウイルスの感染が続く中、免疫力を高めるためには、『十分な睡眠と適度な運動、バランスの取れた食事』が大切であるのはご存知のことと思います。

栄養のある食事が、さらに心の栄養となるためにも、朝食・夕食はできるだけ家族揃って食卓を囲み、楽しく食べる習慣をつけていってほしいと思います。

そして、是非子ども達に『我が家の味』を伝えていってください。

安全

園では、子ども達が自分で自分の身を守るようになるためにはどうすればよいのかを常に考えながら、様々な活動に取り組んできました。園での決まり事やバス乗車での約束事を伝える際には、『なぜそれが必要なのか』を分りやすく話してきたところです。

4月からは、歩いての登校となりますね。登下校中の『安全』に関しては、保護者の皆様が子ども達としっかり話し合い、実際に通学路を歩いて危険個所の確認をしておきましょう。

大切な命はこれからも自分で守りましょう。

Smile and Challenge

当たり前のことが当たり前にできる喜びと多くの人への感謝を改めて実感した一年でした。これからも命を大切に、笑顔でいろいろなことに挑戦してください。夢に向かって歩まれる皆様をずっと応援させていただきます。
(編集：子育て相談 北村)